

平成25年度 木曾川宝積寺東築堤護岸工事

～ 堤防を強く整備し地域を水害から守る～

発注者：木曾川上流河川事務所

受注者：株式会社加藤組

2012年入社 堀 夏美

2012年3月に工業高校を卒業後、4月に株式会社加藤組に入社しました。

2014年12月より、木曾川宝積寺東築堤護岸工事に施工担当者として従事しています。

なぜ、建設業で働こうと思ったのか

私は、中学生の時に高校を卒業したら就職をしたいと考えていました。そのために工業高校の建設工学科へ進学し、2年生の時から土木類型を専攻して学びました。高校在学中のインターンシップで、加藤組でお世話になり、その時の現場担当者の方から「**建設業は地図に残る仕事**」と聞きそこに魅力を感じ、建設業で働こうと思いました。



仕事のやりがい

初めはなにもないところに構造物ができていく姿が間近で見ることができ、自分が携わった現場が事故等なく無事に完成することができた時は安心すると同時にとても達成感があります。また、工事により作られた構造物はその地域の方々の生活を守り、より豊かにするために利用されていくことが何よりものやりがいですね。



重機オペレーターとの打合せ

女性技術者として

女性の少ない業界のため、発注者や下請負業者の方にも覚えていただきやすくそれがコミュニケーションをとるきっかけとなることもあり、1度同じ現場で仕事をすると別の現場で会った時にも「あの現場にいたよね」等話かけていただけることも多いです。

また、地域の方々も男性に比べて話しかけやすく、建設業に対する印象も変わるのではないかと思います。



建設業へ入職希望する皆さんへ

私のように「けんせつ小町」となって地域住民の皆さんの安心・安全を守る構造物を一緒に作りあげましょう！！



※けんせつ小町の現場女子会開催時の写真
平成27年1月27日 けんせつ小町の現場女子会より